

2025年10月31日

### 組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

#### 【例文】

- 当組合は、「誠実に・親切に・丁寧に・公平に・迅速に・正確に・知的に・明朗に」の職員行動基本 8 原則のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、お客さまの多様なニーズにお応えし資産形成・資産運用に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

菊池地域農業協同組合

# I.取組状況

## 1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

### (1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3、6、7)補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期・積立・分散投資の多様なニーズにお応えできるよう「JAバンクセレクトファンド」を採用しております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- 組合員・利用者の皆さまに対面で金融商品を販売する際には、適合性チェックシートを活用して適切に販売しております。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、投資運用会社のプロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを含め、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。
- なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

#### <投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	1 (前年度末：1)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

#### <商品選定の考え方>

長期投資	長期投資を前提とした投資信託であること
手数料	手数料が良心的な水準であること
運用実績	過去の運用実績が相対的に良好であること
将来性	資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
運用体制	運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

※商品選定の考え方：JAバンクHP  
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

# I.取組状況

## 1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

### (2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、  
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- ・当組合は、「職員行動8原則」の実践を通じて、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- ・市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- ・総合満足度は令和7年3月末時点で、96.6%となっており、高水準を維持しております。
- ・なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

# I.取組状況

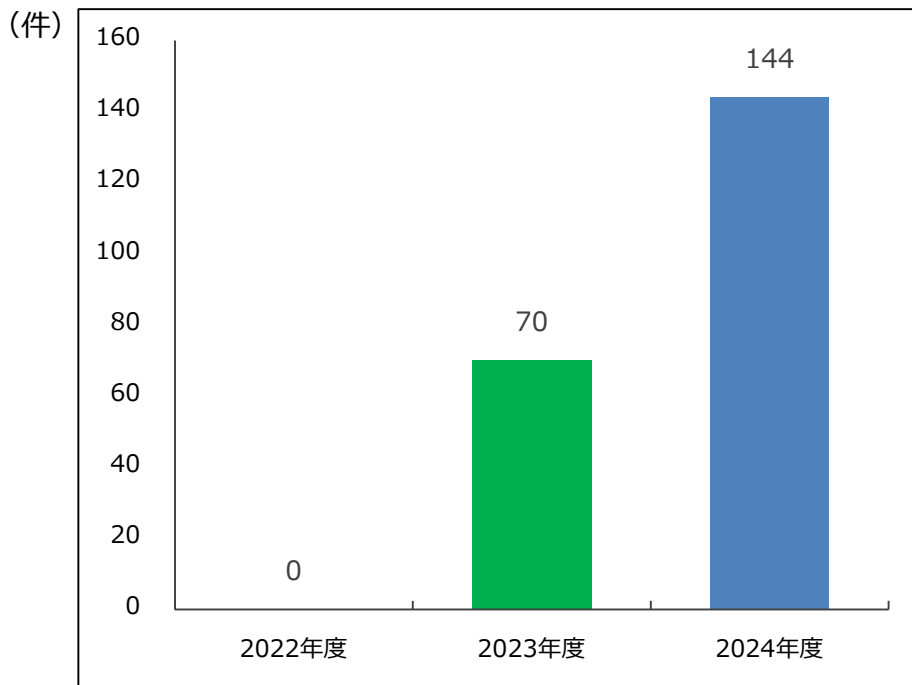
## 2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、  
原則6本文および(注1～7)】

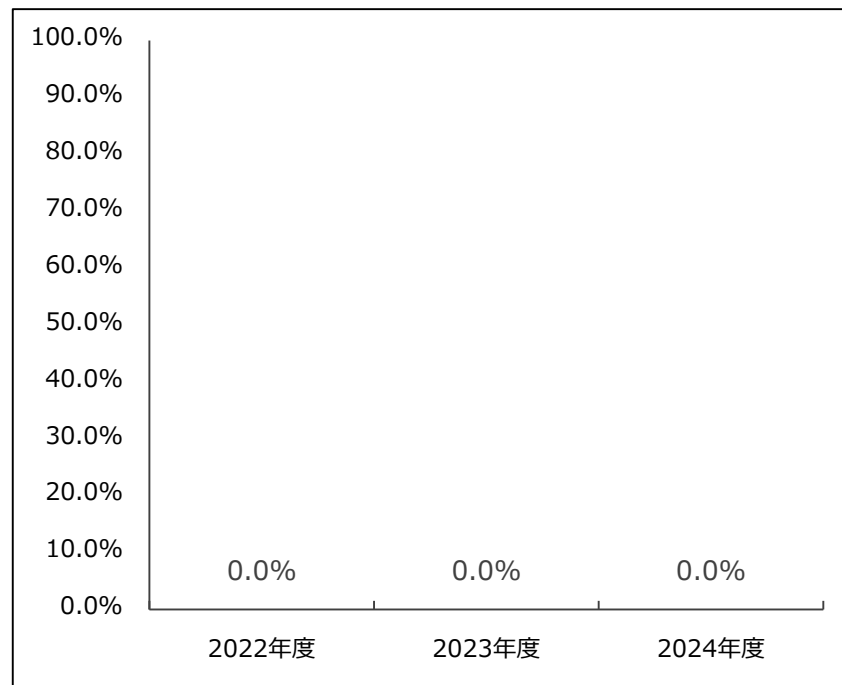
### (1) 信用の事業活動

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまとの対話を重視し、金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加しました。なお「毎月分配型ファンド」を選択されるお客さまはいませんでした。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



# I. 取組状況

## 2 組合員・利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

### (1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、ご説明には「JAバンクセレクトファンドマップ」を用い、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2023年10月から重要情報シートを導入しております。

**JAバンクセレクトファンドマップ**

2024年1月

リスク・リターン: 安定型 (小) | 中間型 (安定～中間) | 中間型 (中間～積極) | 積極型 (大)

**コア・サテライト戦略**

保有する資産をコア(中核)資産と、攻めの「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

コア: 投資の中心となる資産 (例: 日本株、債券)

サテライト: コアに補完する資産 (例: 外国株、REIT)

**JAバンクのセレクトファンド**

JABANKのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、**JABANKが独自の基準で**長期投資に適した投資信託を選別しました。

主な選定基準

- 1 長期投資: 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料: 手数料が良心的な水準であること
- 3 運用実績: 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 特長性: 資産形成には、適度に分配金を支出する投資信託ではないこと
- 5 運用体制: 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※お好きな長期投資として、最新の運用実績を参考に、投資先を選定しているため

「投資信託説明書（交付目録見直し）」のご請求、お申し込みは

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」(金融事業者向け)

1. 当該組合の基本情報 (当該組合がお客様に金融商品の販売【又は販売仲介】をする者です)

組合名	東海地域農業協同組合
登録番号	九州経済同業 (協会) 第33号
加入協会	ありません
当該組合の概要を扱ったウェブサイト	http://jakkuchu.jp/

2. 投資商品 (当該組合がお客様に提供できる金融商品の種類は次のとおりです)

好否 (投資性なし)	○	好否 (投資性あり)	○
国内株式	○	外国株式	○
円債債券	○	外国債債券	○
特種な債券 (社債債権)	○	債権信託	○
ファンドラップ	○	ETF、ETN	○
REIT	○	その他の上場商品	○
保険 (投資リスクなし)	○	金融 (投資リスクあり)	○

これら以外の商品: iDeCo

※他に共有を取扱っております。

3. 商品ラインナップの考え方 (商品選択のコンセプトや留意点は次のとおりです)

・JABANKでは、いろいろな「投資に関する好み」に合った商品を提供しつつ、お客様にとっての選びやすさも考慮し、一定の商品数に絞った「JABANK セレクトファンド」をご用意しております。

・「JABANK セレクトファンド」のラインナップは、主に以下の基準をもとに商品を選定しております。選定にあたっては外部有識者の知見も踏まえ検討しており、定期的な各商品の運用実績などのモニタリングを行っております。

①長期投資 将来の増えに向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること (いわゆる「ターム型」ではないこと)

②手数料 手数料が良心的な水準であること

③運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること

④特長性 これら基準に加えて、運用実績について、適度に分配金を支出する投資信託ではないこと

⑤運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

・上記の考え方については、ホームページにも掲載をしております。

https://www.jabank.org/sp/ameru/tousintaku/select/

・なお、投資に関する好みについては、JABANKでは、顧客組合員・利用者の皆さまのリスク許容度 (※1) を確認し、リスク許容度に応じた商品群を为您推荐しております。

※1: リスク許容度とは、どの位の増減も許容できるかを事前に判断するもので、JABANKでは、リスク許容度を4段階し、それぞれのリスク許容度に応じた複数の商品をご用意しております。

4. 各債・株式窓口

当該組合お客様相談窓口	0968-23-3504
加入協会共通の相談窓口	ありません
金融庁金融サービス利用相談窓口	0570-016811 (03-5251-6811)

# I.取組状況

## 2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

### （2）共済の事業活動

#### ①共済仕組み・サービスのご提案

- ・共済仕組み・サービスの提案にあたっては、加入状況表やチェックシートを活用した3Q訪問活動を通じて組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。
- ・組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に基づき、保障設計書・お見積書により、最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。
- ・ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

#### ②情報提供、契約時締結時の対応

- ・加入目的・現在加入内容・ライフプラン等に応じた最適な保障・サービスの情報提供を実施しております。
- ・情報提供にあたっては、各種公的保険制度やさまざまなリスクについて、アドバイスブックなどにより分かりやすく説明しております。
- ・意向確認・重要事項説明書（契約概要・注意喚起事項）を通じてご提案した共済仕組み・サービスが組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。

#### ③高齢者対応

- ・ご高齢の組合員・利用者の方については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時にはご家族の同席、電話での確認など、よりきめ細やかな対応を行っております。
- ・なお、令和7年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しし、ご契約者さま・被共済者さまだけでなく、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めております。

#### ④加入時の手数料について

保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等はお負担いたしておりません。

#### ⑤各種手続きの実施とアフターフォローの実施

- ・各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすくご説明しております。
- ・将来、ご自身によるお手続きが困難になった場合の備えとして、「指定代理請求人」にご家族を指定いただくことをご案内しております（生命総合共済の場合）
- ・令和5年度からは支払い請求手続きの簡素化を推し進めるなど、組合員・利用者の皆さまの利便性向上に向けて取り組んでおります。
- ・ご加入後も、3Q活動を通じて、保障内容の確認、共済金等請求漏れの確認など組合員・利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。

# I.取組状況

## 3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

当組合は、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。

## 4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)原則7本文および(注)】

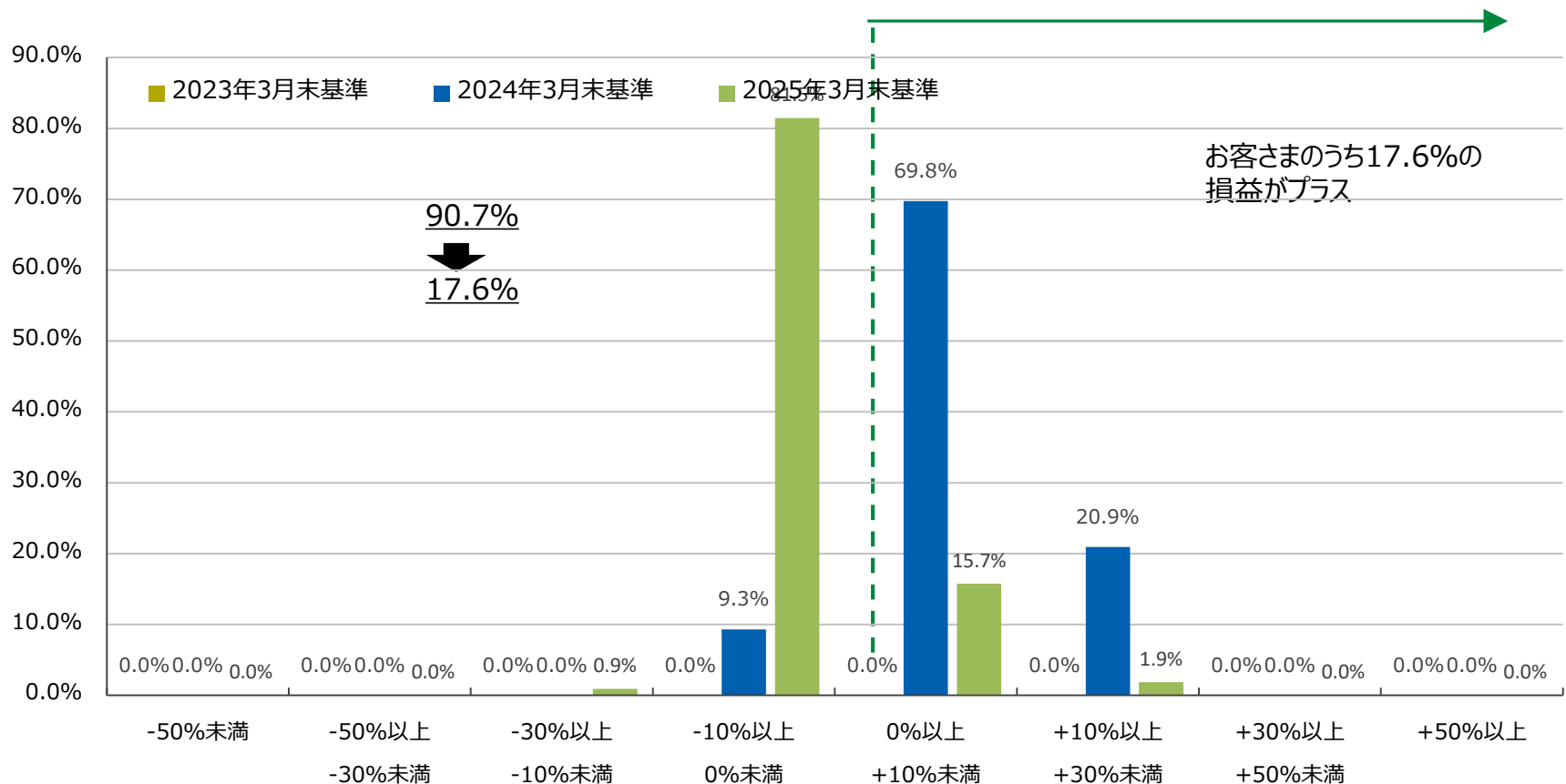
当組合は、お客様本位の業務運営を実現するために、各種研修への積極的参加、資格取得を通じて金融・共済リテラシーの向上を図り、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成しております。

(補足) 2024年度は、「銀行業務検定 資産形成アドバイザー2級」1名  
「第1種証券外務員試験」34名がそれぞれ合格しております。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の17.6%のお客さまの損益がプラスとなりました。

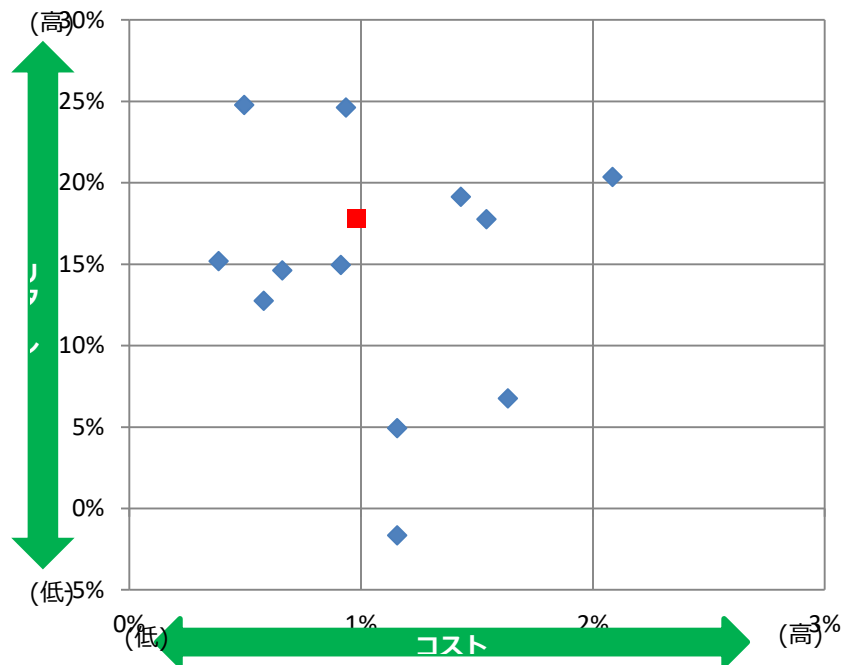


## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

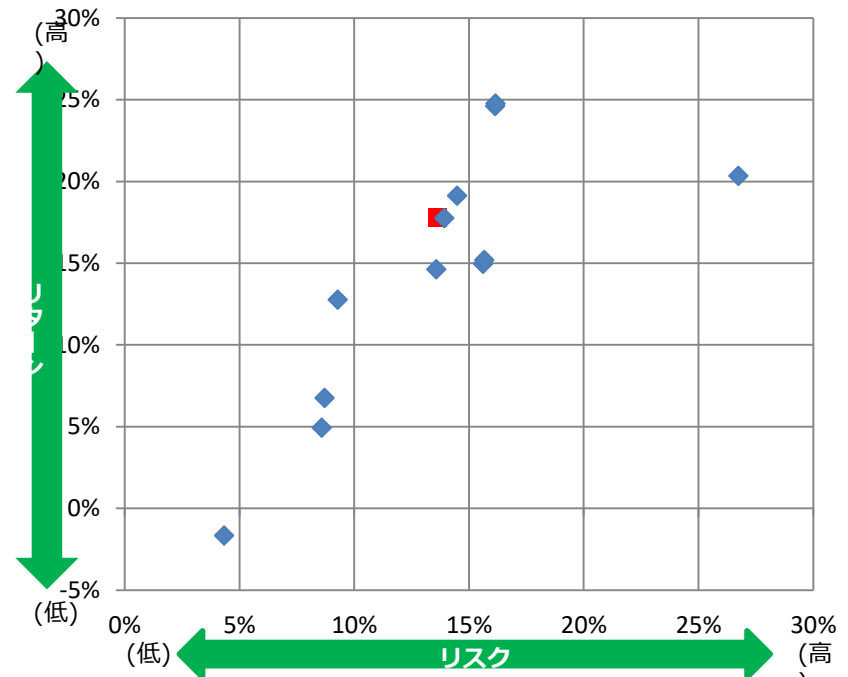
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/2) (2025年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.98%、平均リスク13.62%に対して、平均リターンは17.80%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



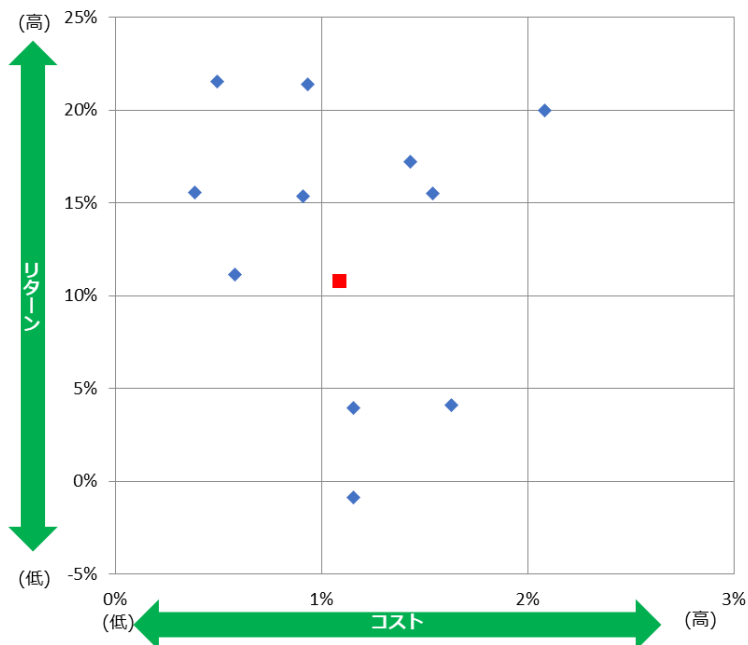
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、11ページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

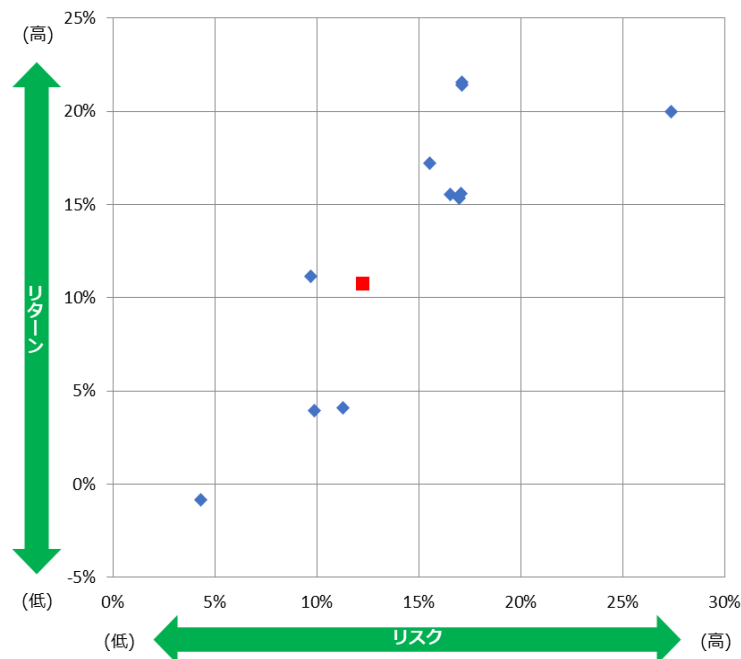
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/2) (2024年3月末)

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.09%、平均リスク12.24%に対して、平均リターンは10.77%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、12ページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/2）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
4	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
6	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
7	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
8	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
11	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
12	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		17.80%	13.62%	0.98%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は12本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/2) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.40%	17.11%	0.94%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.95%	9.89%	1.16%
3	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.86%	4.33%	1.16%
4	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	17.22%	15.52%	1.43%
6	つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.55%	17.11%	0.50%
7	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.57%	17.06%	0.39%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.34%	17.00%	0.91%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	11.15%	9.72%	0.58%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	15.53%	16.54%	1.54%
11	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント (株)	19.98%	27.37%	2.08%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.77%	12.24%	1.09%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。